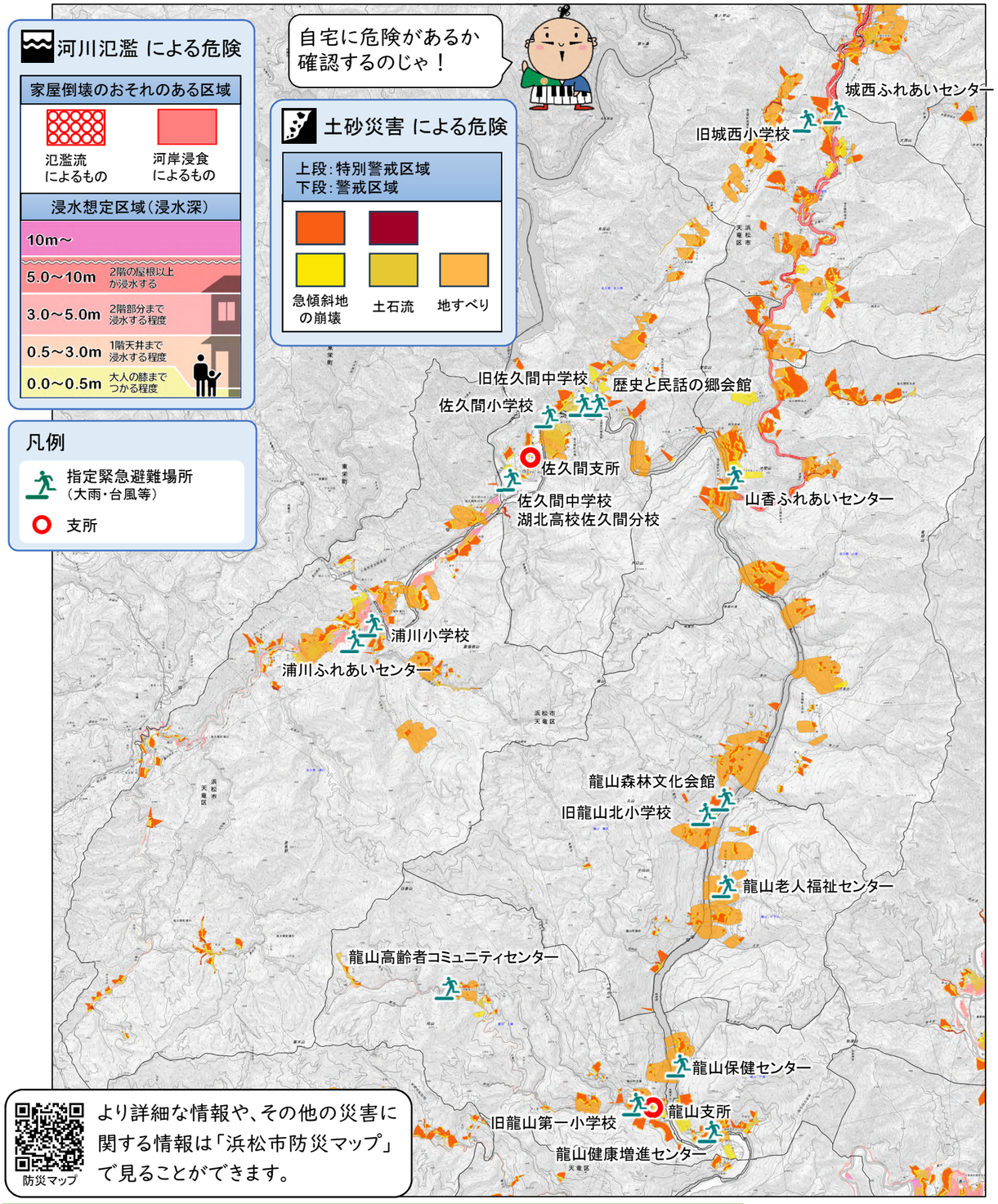
浜松市水害ハザードマップ（河川氾濫 ・ 土砂災害） ⑰ ～ 龍山・佐久間地区版 ～

令和7年2月作成 Ver1.2

激甚化・頻発化している水害、土砂災害から命を守るためには、
リスクを正しく知り、適切なタイミングで適切な場所へ避難することが重要です。



より詳細な情報や、その他の災害に関する情報は「浜松市防災マップ」で見ることができます。
防災マップ

・河川の浸水想定区域は、国及び静岡県が公表する1000年に1回程度起こるおそれのある大雨を想定したものです。
・過去の浸水実績（参考）は、「浜松市防災マップ（web）」または「浜松市HP（内水ハザードマップ）」からご覧ください。
・掲載されている内容を営利目的や商業目的に利用することはできません。
・掲載されている内容は、一定の条件に基づき予測されたもので、実際の災害時は想定を超える可能性があります。
・掲載されている町境などは、公開用に概略化されたものであり、誤差がある場合があります。
・掲載されている内容は随時更新しているため、最新の情報は「浜松市防災マップ（web）」をご確認ください。

河川氾濫（家屋倒壊等のおそれのある区域と、浸水する区域）

【家屋倒壊等のおそれのある区域】 **立退き避難が必要**

自宅に留まることは危険です。
浸水のおそれのない場所に避難が必要です。

氾濫流によるもの		流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。
河岸浸食によるもの		地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

出典：内閣府ホームページ

【浸水想定区域】

浸水深より高い場所に居室がない場合には、浸水のおそれがない場所に避難が必要です。

土砂災害（指定区域の種類） **立退き避難が必要**

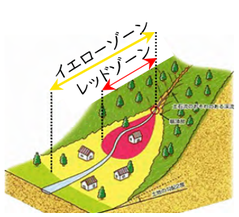
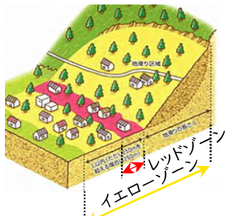
【土砂災害**特別**警戒区域（レッドゾーン）】

崩壊した土石等により**建物の破壊**が生じ、身体に**著しい**危害が生じるおそれのある区域

【土砂災害警戒区域（イエローゾーン）】

崩壊した土石等により生命や身体に危害が生じるおそれのある区域

※土砂災害の前兆現象は、現象の直前にみられるものとして知られていますが、実際には発現してから避難するための猶予はほとんどない場合が多く、「様子がおかしい」と感じたら直ちに避難行動をとる必要があります。

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）	土石流	地すべり
		
前兆現象※ 崖にひび割れができる、小石が落ちてくる、地鳴りがする など	前兆現象※ 山鳴りがする、腐った土のにおいがする、川の水が濁る など	前兆現象※ 崖や斜面から水が噴き出す、井戸水・沢の水が濁る など

◆ 市や町から発令される避難情報

避難情報	警戒レベル	住民がとるべき行動
緊急安全確保	レベル5	・ただちに命を守る最善の行動をとる ※強固な建物・高い建物に避難する
避難指示	レベル4	・全ての住民が避難を完了させる
高齢者等避難	レベル3	・避難に時間がかかる人は避難を開始する

・河川氾濫の避難情報は、あらかじめ定められた河川水位を基準に発令されます。
・土砂災害の避難情報は、あらかじめ定められた土壌に含まれる水分量の実況値及び2時間先までの予測値を基準に発令されます。

◆ 情報収集手段

【避難情報や避難所の開設状況】

LINE公式アカウント しゃんべえ情報局

浜松市防災メール

【気象情報や河川水位情報】

川や気象 防災情報ならここ!! サイポスレーダー

気象庁キキクル Japan Meteorological Agency

◆ 【簡易版】わたしの避難計画 （自宅の災害リスクや避難のタイミングを記入しましょう）

土砂災害のおそれが ⇒ □ ない ・ □ ある （□ 特別警戒区域 ・□ 警戒区域）

河川氾濫のおそれが ⇒ □ ない ・ □ ある （□ 家屋倒壊のおそれ ・□ 浸水）

●避難のタイミング

＿＿＿＿＿＿＿＿※ が発令された時

※高齢者等の避難に時間の方がいる場合は「高齢者等避難」、それ以外の方は「避難指示」以前になります。

●避難先

＿＿＿＿＿＿＿＿※

※安全な場所に住む親せきや知人宅、または指定緊急避難場所を記入しましょう。

地震・津波にも対応した「わたしの避難計画（**完全版**）」はコチラ!